

君津市保育環境整備計画  
(素案)

令和2年 月

君津市

# 目次

## 第1章 計画の策定にあたり

1 計画策定の趣旨 .....	1
2 計画の位置付け .....	2
3 計画の期間 .....	3

## 第2章 保育環境の現状と課題

1 市勢の現状 .....	4
2 保育の現状 .....	7
3 解決すべき課題 .....	14

## 第3章 今後の取組方針

1 目指すべき保育環境の理念 .....	15
2 課題解決のための方向性 .....	16
3 取組の体系 .....	17

## 第4章 具体的な方策

1 公立と民間の役割分担の明確化 .....	18
2 各園の整備方策 .....	19
3 整備スケジュール .....	25
4 保育施設の再編一覧 .....	26

## 第5章 取組による効果

1 待機児童解消 .....	28
2 安全・安心な施設の確保 .....	30
3 職員配置の適正化による保育の質の向上・確保 .....	31
4 民間事業者による多様な保育サービスの提供 .....	32
5 バランスの取れた施設の配置 .....	33
6 財政削減効果 .....	35

## 第1章 計画の策定にあたり

### 1 計画策定の趣旨

本市では、平成27年10月に「君津市保育環境整備に関する基本方針」（以下、基本方針）を策定し、増大・多様化する保育ニーズに柔軟かつ迅速に対応するため、公立・私立の役割を明確にし、民間活力を積極的に導入していくこととしております。具体的には、民間事業者が参入しづらい地域の実情や、地域の方が集う地域の子育て支援の拠点、公共的役割を担っていくことを踏まえ、各地区において最低1園の公立保育園の運営を継続し、その他の公立保育園は、民間活力を積極的に導入し、民営化の方向で検討を進めていくこととしたものです。

この基本方針に基づき事業を展開した結果、平成30年度に宮下保育園の民営化による『宮下どろんこ保育園』の開園、令和2年4月には人見保育園を認定こども園へ移行し『人見こども園』として開園、民間保育園の『あい・あい保育園君津園』、『ウェルネス保育園君津』、『スクルドエンジェル保育園南久保園』が開園しました。

しかしながら現在も、都市部の保育園では待機児童の発生、山間部の保育園では人口減少や少子化の急激な進行による、定員割れの状況となっているほか、「長時間延長保育をしてほしい。」「緊急時の一時保育をしてほしい。」など保護者のニーズに十分な対応ができていないという厳しい状況が続いています。

また、その一方で、女性の社会進出の増加や、就業・育児形態の多様化などにより、子育てと仕事を両立するための保育ニーズは今後さらに変化・増大することが予想されます。

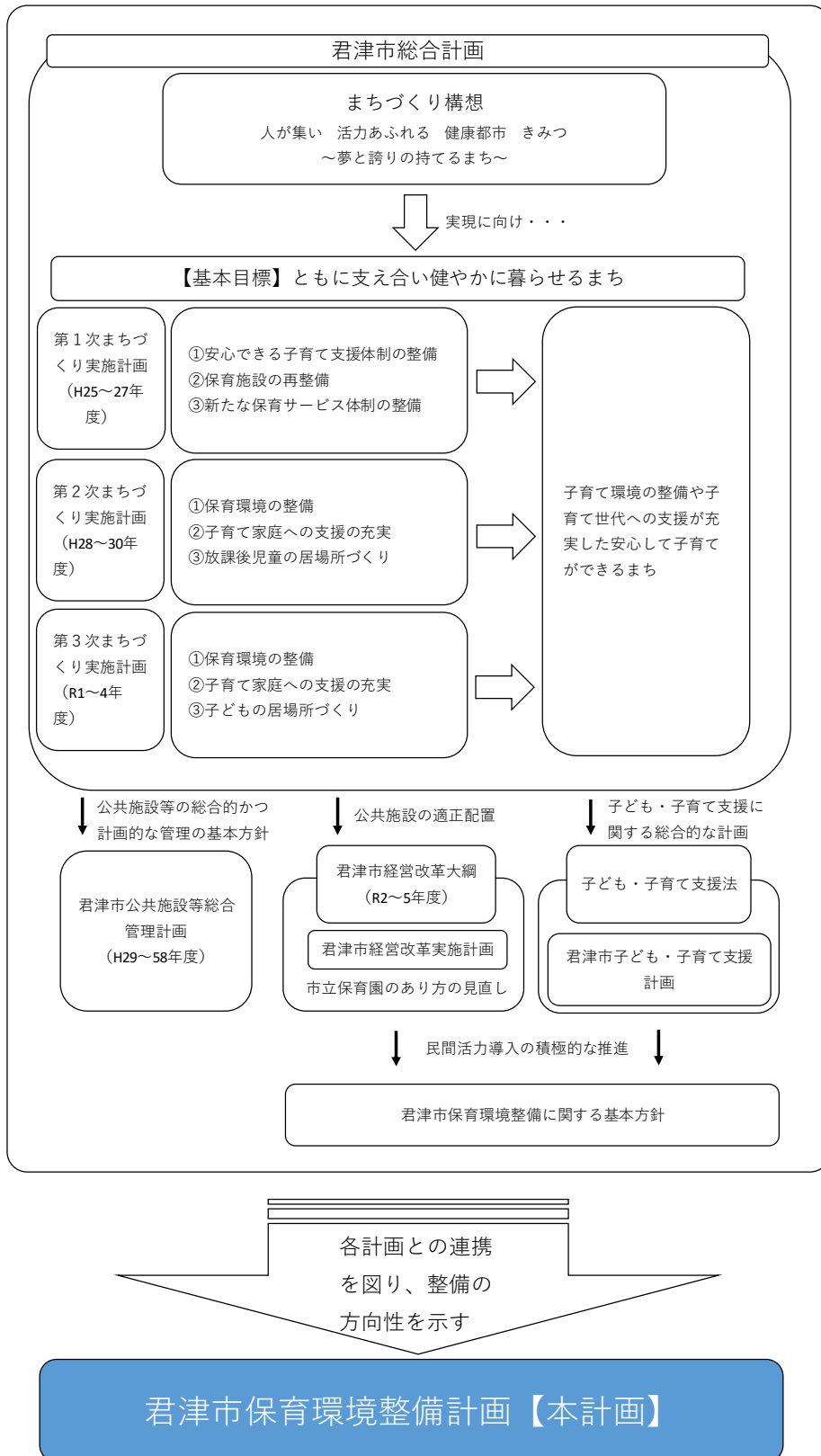
このような状況下において公立保育園の施設面では、園舎のほとんどが木造で建設から45年～50年程度経過し、著しく老朽化が進んでいることから、子どもたちにとって安全で安心な園舎を確保するために建替え等の対応が急務となっています。

これらの状況に適切かつ持続的に対応するために、本市の保育環境の現状と課題を明確化し、その課題解決のための公立保育園の民営化や統合など、施設整備の方向性を示した「君津市保育環境整備計画」を策定します。

この「君津市保育環境整備計画」は、基本方針において今後策定するとしていた「公立保育園整備計画（仮）」にあたるもので、本計画を着実に推進し、家庭や地域など保育園に関わる全ての人に見守られ、社会の宝であるすべての子どもにとって「毎日、保育園に行きたい」と思える保育園、保護者にとっては安全で安心な「君津市の保育園に預けてよかった」と思っただけの保育環境の整備を目指してまいります。

## 2 計画の位置付け

本計画の推進に当たっては、本市の関連計画と連携を図ります。



### 3 計画の期間

本計画は、令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とします。

	年度											
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	R4 (H34)	R5 (H35)	R6 (H36)
	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2022	2023
君津市総合計画	H25～R4											
君津市まちづくり構想	H25～R4											
まちづくり実施計画	第1次 H25～H27			第2次 H28～H30			第3次 R1～R4					
君津市経営改革大綱			第2次 H27～R1				第2次 R2～R5					
君津市経営改革実施計画			第2次 H27～R1				第2次 R2～R5					
君津市公共施設等総合管理計画				H29～R28 (30年)								
君津市子ども・子育て支援計画			第1期 H27～R1				第2期 R2～R6					
君津市保育環境整備に関する基本方針			H27～									
君津市保育環境整備計画【本計画】								R2～R6				

### 4 対象施設

市内の公立保育園10園、認定こども園1園を対象とします。

### 5 本計画の検討・見直し

本計画で予定している民間事業者の公募の状況や今後の空き公共施設の状況、社会・経済情勢、財政状況等を踏まえ、必要に応じて検討・見直しを行います。

## 第2章 保育環境の現状と課題

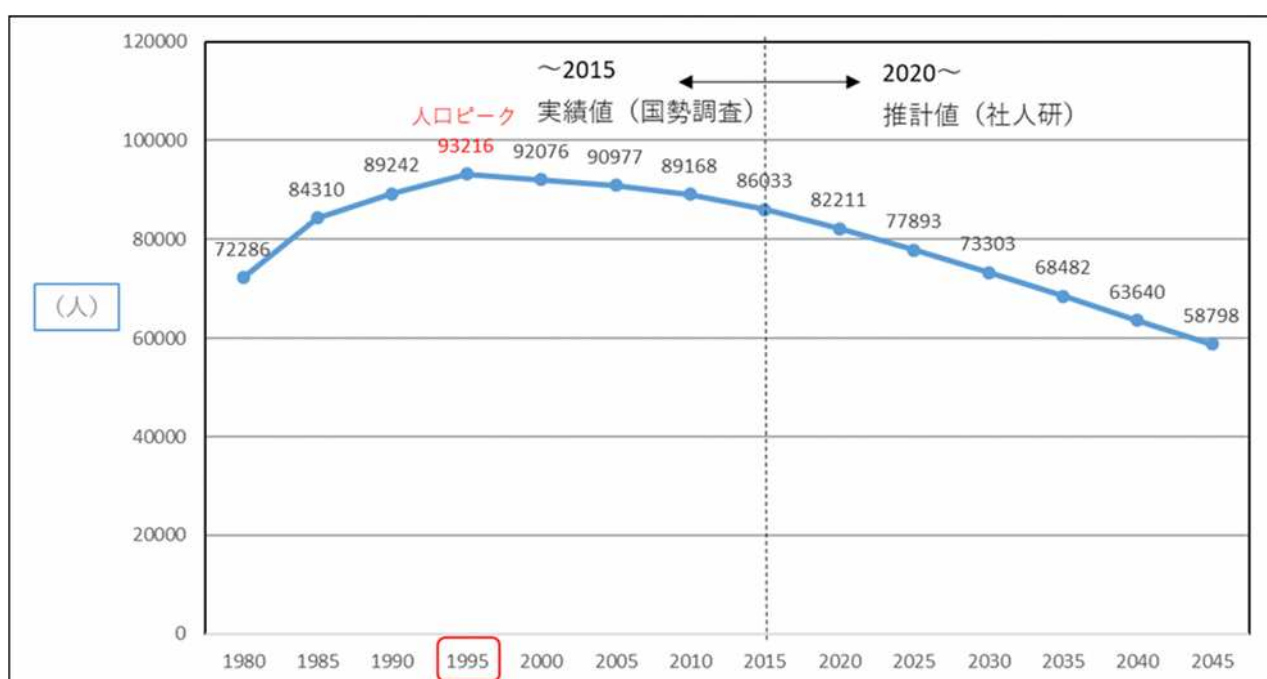
### 1 市勢の現状

#### (1) 人口

君津市の人口は、1995年（平成7年）国勢調査の93,216人をピークに減少しており2015年（平成27年）には86,033人となっています。

国の資料に基づく人口推計（国立社会保障・人口問題研究所推計準拠）によると、2030年に73,303人となり、2045年には58,798人まで減少すると予想されています。

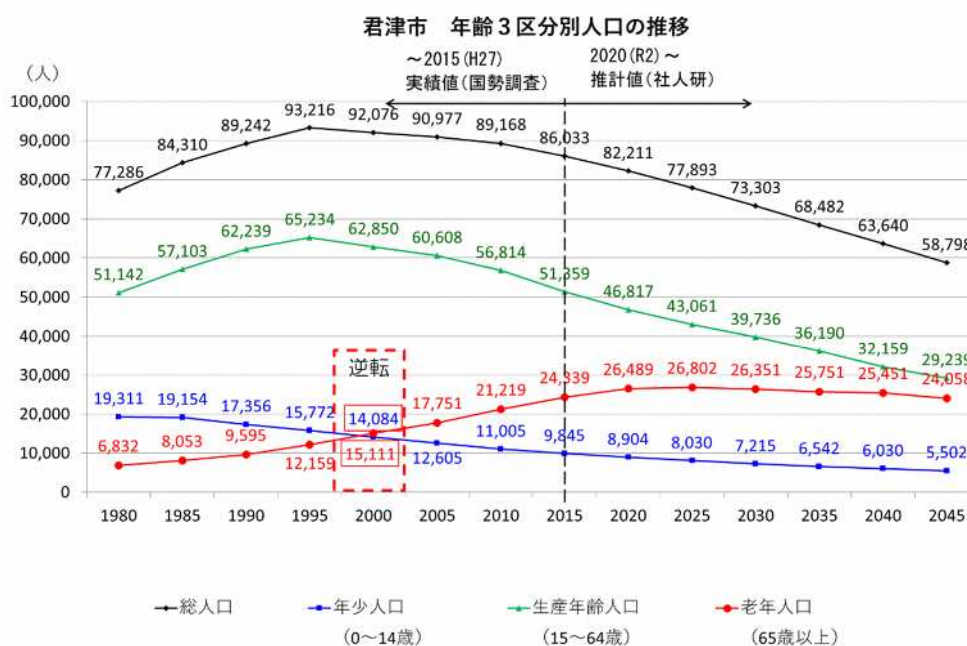
【総人口の推移】



（資料：1980年～2015年は国勢調査、2020年以降はまち・ひと・しごと創生本部提供資料に基づいた推計（国立社会保障・人口問題研究所推計準拠））

また、君津市全体の年齢3区分別人口は、生産年齢人口（15～64歳）、年少人口（0～14歳）、いずれも近年は減少傾向で推移する中、老年人口（65歳以上）は増加傾向にあり、今後もこの傾向は続いていくと予想されています。

### 【年齢3区分別人口の推移】



(資料：君津市人口ビジョン)

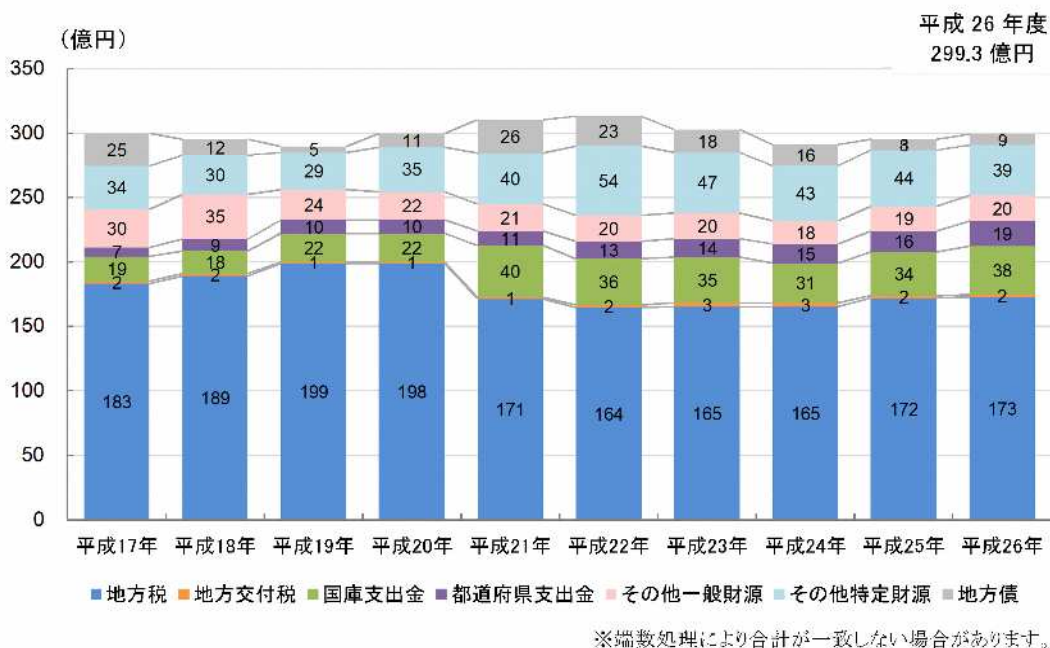
### (2) 財政状況

本市の財政状況は、中長期的には根幹となる市税収入において、生産年齢人口の減少や法人市民税の税率引下げなどにより大幅な増収が見込めない状況にあります。

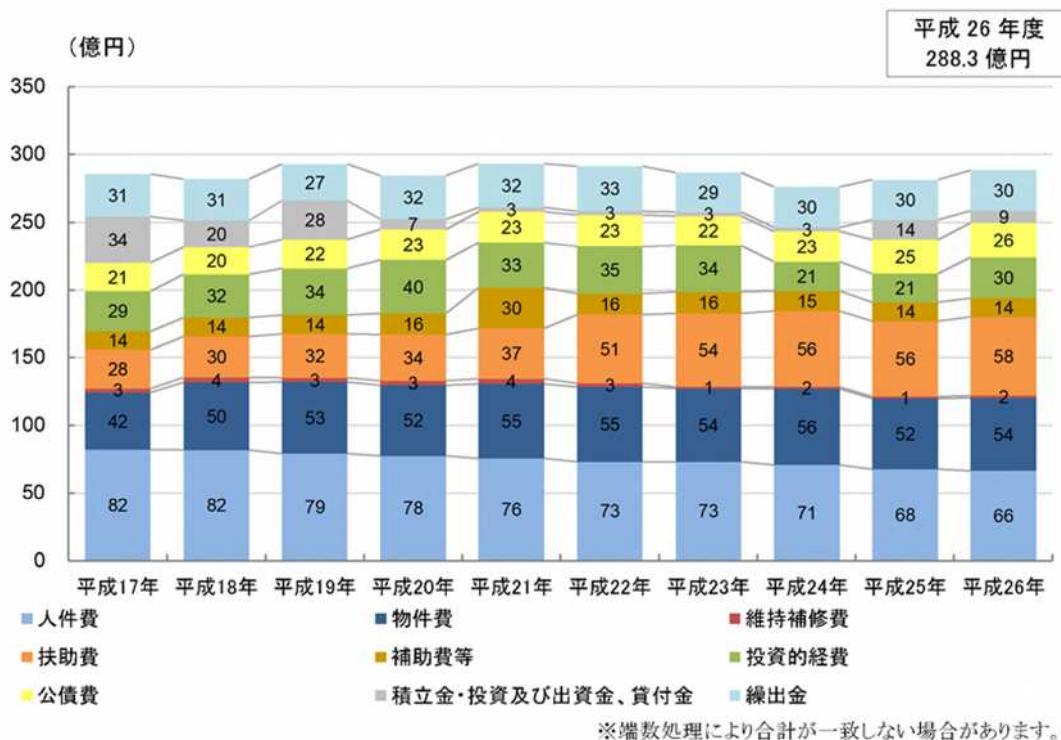
一方、歳出は高齢者人口の増加に伴い、社会保障関係費が増加しております。このような扶助費の増加が続くと、高度成長期に大量整備されたインフラの長寿命化、社会環境の変化に伴う施設整備への対応など、公共施設等の修繕・更新に充てられる投資的経費の減少が避けられない場合も想定され、老朽化した施設の修繕・更新が先送りとなり、利用者の安全・安心の確保が困難になると考えられます。

財政の健全性を維持しながら、市民の皆様のニーズを的確に把握し、将来にわたり持続可能な行財政運営を目指して、今後もしっかりと市政を運営していく必要があります。

### 【歳入状況推移】



### 【歳出状況推移】



(資料：君津市公共施設等総合管理計画から)



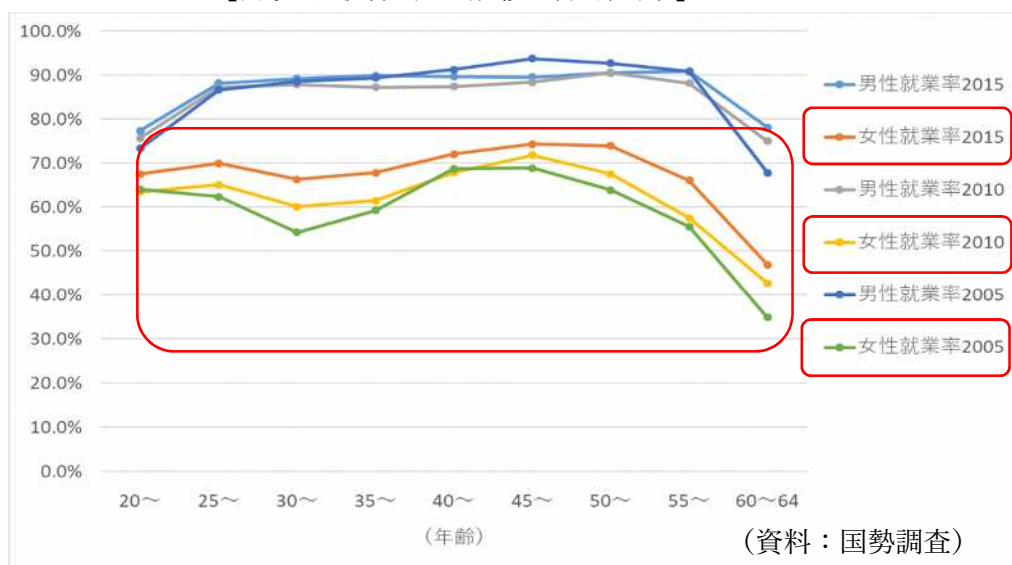
## 2 保育の現状

### (1) 保育需要

#### ア 女性就業率の増加

本市の女性の就業率は、女性の社会進出の増加に伴い上昇傾向にあります。また、女性の労働力率は出産・育児期を迎える年代で低下し、育児が落ち着いた時期に上昇するM字カーブを描きますが、そのM字の底が年々浅くなっており、本市においても女性の労働機会は増加しています。

【男女別就業率の推移（君津市）】



#### イ 保育園申込率の増加

女性就業率の増加でも記述したとおり、女性の労働機会が増加していることに伴い、保育ニーズも年々高まっています。具体的には3歳未満児の申込率（申込者数/就学前児童数）が7年間で約15%増加しており、保育園に子どもを預けたいという保護者の割合が増えています。

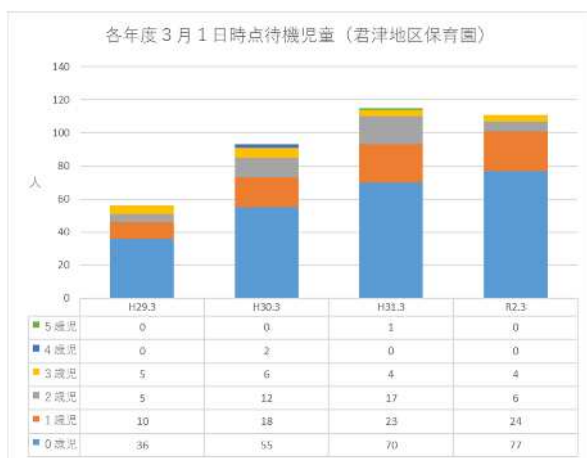
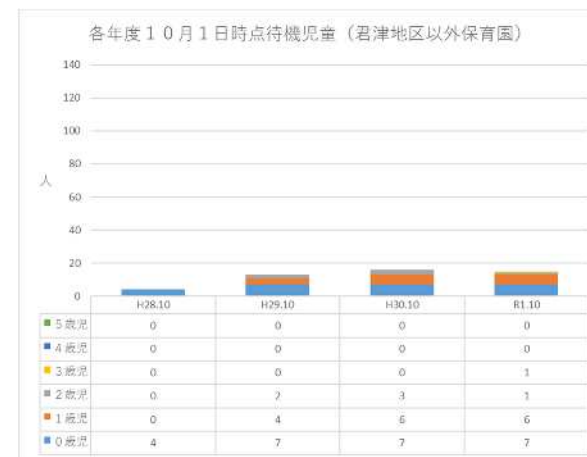
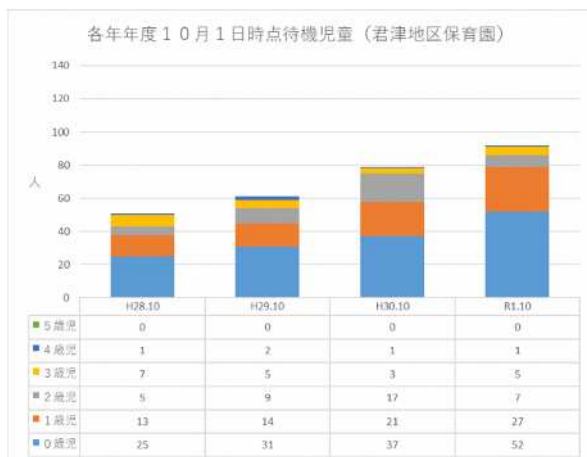
【入園児童数及び申込率の推移】



## 【入園児童数の推移（各年4月1日現在）】

○待機児童数（君津地区保育園）

○待機児童数（君津地区以外保育園）



一方、大幅な定員割れとなっている保育園もあります。

平成31年4月1日現在では、定員の7割を下回る利用となっている施設が、公立で4施設あります。定員割れとなる主な理由は、中山間地域における児童数の減少や保育士が確保できないことによるものです。

保育士の確保については全国的な課題となっており、本市も例外ではなく保育士の確保（特に常勤）が公立・民間ともに大きな課題となっています。保育士を確保することができれば入所率を改善することができ、待機児童数の減少に大きく寄与しますが、現状、保育士の確保が大変難しい状況にあります。

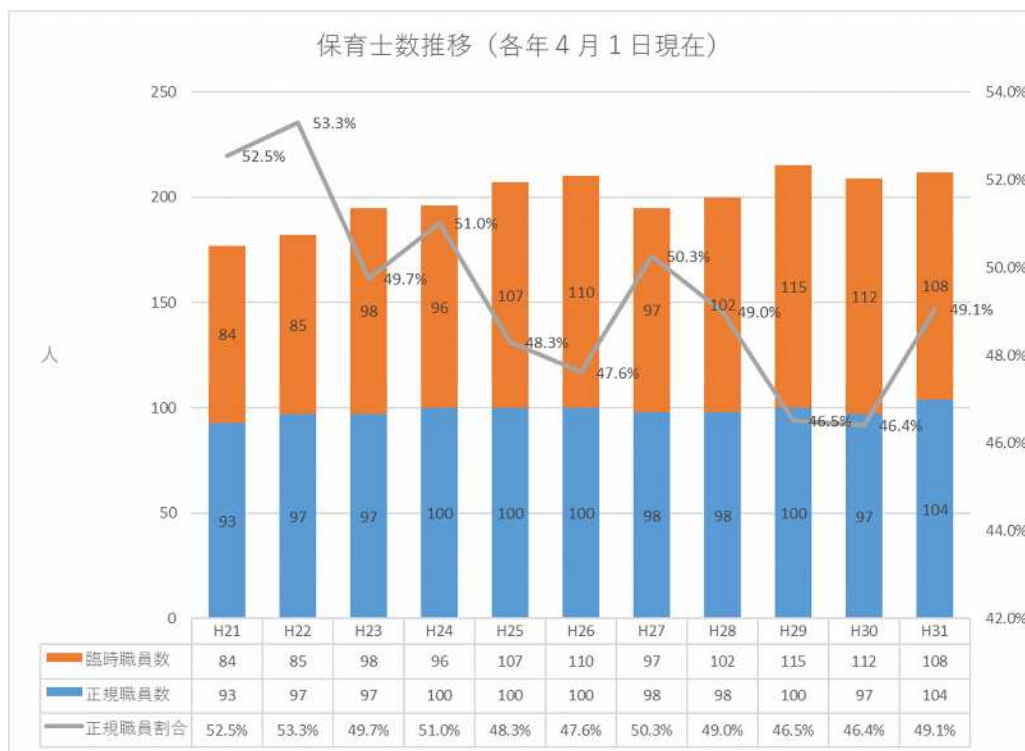
【市内保育施設の充足状況（令和2年4月1日現在）】

保育施設		定員	入所児童数	入所率	待機児童数	
君津地区	公立	久保	150	132	88%	0
		上湯江	80	50	63%	0
		人見こども園	150	121	81%	1
		内箕輪	90	74	82%	0
		常代	90	96	107%	0
		南子安	150	127	85%	1
	私立	君津	90	78	87%	0
		宮下どろんこ	90	86	96%	1
		スキップ	12	13	108%	0
		サンライズ	19	19	100%	0
		ウェルネス	105	49	47%	0
		あい・あい	70	42	60%	0
		スクルド南久保	19	23	121%	0
小糸地区	公立	中	80	57	71%	0
小糸		60	39	65%	0	
清和地区		清和	50	13	26%	0
小櫃地区		小櫃	120	89	74%	0
上総地区		かずさあけぼの	60	33	55%	0

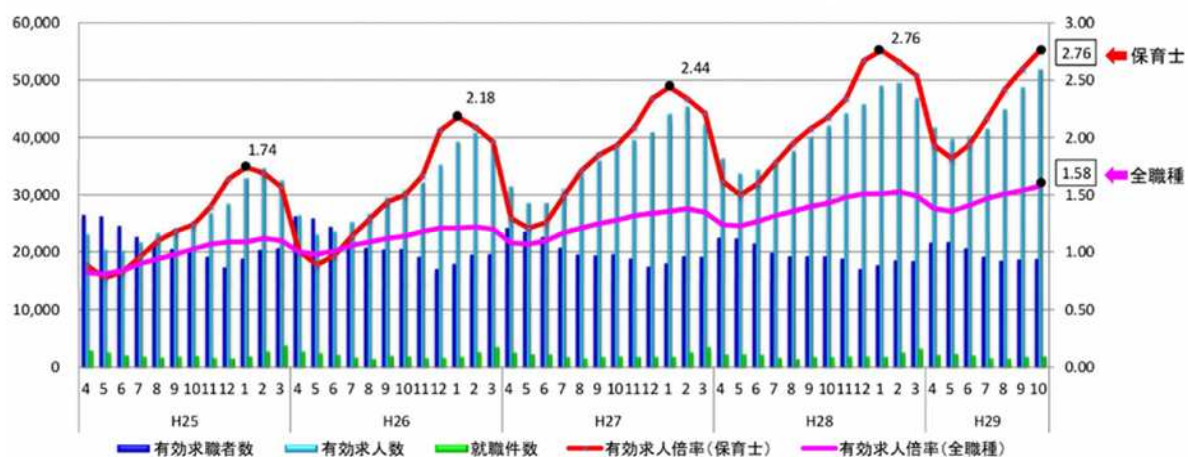
※令和2年4月1日現在

ウェルネス保育園君津とあい・あい保育園君津園は、令和2年4月開園のため3歳児以上の入園が少なくそれに伴い入所率が低くなっています。

### 【保育士数推移（各年4月1日現在）】



### 【保育士の有効求人倍率推移（各年1月1日現在）】



(資料：厚生労働省)

## ウ 保育ニーズの多様化

平成30年12月に実施した「君津市子ども・子育て支援ニーズ調査」によると、子育て（教育を含む）をするうえで、周囲（身近な人、市役所等）からどのようなサポートがあればよいと考えているか、また、すべての子どもに良質な成育環境を保障し、子育て支援を総合的に進めていくために、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見について取りまとめたところ、「預かり保育・一時保育の充実」「幼稚園・保育園の増設、設備・人材の充実」「365日、24時間保育の実現」等の意見がありました。

これらの意見については、これまでもニーズとしてあったものの、女性の社会進出や就労形態の多様化により、延長保育や休日保育、一時保育、途中入園の希望が増えているものと考えられます。

今後もこのような保育ニーズは、就学前児童数が減少する中でも、増加あるいは同水準で推移していくものと予想されるため、柔軟に対応できる環境整備が必要になっています。

### 【君津市子ども・子育て支援ニーズ調査 結果抜粋（平成30年度）】

問 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、市役所等）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由に意見などをお書きください。

【幼稚園・保育園について】		回答数100件	【育児・保育サービスについて】		回答数45件
預かり保育・一時保育の充実	49		障害児のサポート	10	
幼稚園・保育園の増設、設備・人材の充実	15		ファミリーサポート	8	
費用負担の軽減、経済的援助	12		緊急時の一時保育	7	
入園制度などについて	9		病中病後児の保育	6	
365日24時間保育の実現	8		産後のケア	5	
幼稚園・保育園に関する情報提供	3		親が病気の時の保育	4	
幼稚園・保育園の一覧表がほしい	2		声かけ・話を聞いてもらえるサポート	3	
送迎バス・送迎サポート	2		収入に関わりなく平等なサービスの提供	2	

問 すべての子どもに良質な成育環境を保障し、子育て支援を総合的に進めていくために、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

【幼稚園・保育園について】		回答数144件	【育児・保育サービスについて】		回答数27件
幼稚園・保育園の増設、設備・人材の充実	47		病中病後児の保育	9	
入園制度などについて	44		障害児のサポート	7	
預かり保育・一時保育の充実	17		ファミリーサポート	6	
365日24時間保育の実現	15		緊急時の一時保育	4	
費用負担の軽減、経済的援助	14		親が病気の時の保育	1	
保育園で学校教育を受けたい	3				
送迎バス・送迎サポート	2				
幼稚園・保育園に関する情報提供	2				

(2) 施設の現状

ア 公立保育園

本市では、大手鉄鋼関連企業が立地した昭和40年代以降、人口の急増に伴い、就学前児童数が急増し、高まる保育園需要に対応するため、公立保育園の整備を実施しました。

また、本市の保育園は、木造で建設から45年～50年程度経過しており、老朽化が進んでおります。そのため今後発生可能性が高い大規模地震の際に施設への被害が発生する可能性も否定できず、子どもたちにとって安全で安心な園舎を確保するため、建替え等の抜本的な改善が必要となっております。

その中で、いつ発生するかわからない大規模地震等から、園児等の人命を守るための安全対策として、園舎の瞬時倒壊を防ぎ、園児等が安全に避難する時間と経路を確保するための園舎の補強工事を行います。なお、木造の保育園を対象とし工事は令和2年度に実施します。

【公立保育園一覧（令和2年4月1日現在）】

保育園名	定員	在園児	敷地面積	園庭面積	建 物			
					建築年	築年数	構造	床面積
久 保	150	133	4,214.45	896.00	S48	47	木造	902.22
上 湯 江	80	53	3,613.20	1,820.00	S43	52	木造	576.75
人 見	150	137	6,580.92	2,712.19	H24	8	鉄骨	1,320.01
内 箕 輪	90	87	5,420.00	2,260.00	S46	49	木造	718.27
常 代	90	102	3,040.00	1,350.00	S47	48	木造	792.50
南 子 安	150	140	3,635.37	1,068.00	S49	46	木造	830.17
中	80	68	3,797.79	1,120.00	S49	46	木造	1,040.30
小 糸	60	50	4,590.00	1,083.70	S51	44	木造	701.58
清 和	50	21	4,290.00	902.00	S48	47	鉄骨	698.70
小 櫃	120	78	11,030.61	1,500.00	H13	19	木造一部 鉄骨	1,107.05
かずさ あけぼの	60	36	5,883.00	2,533.69	H28	4	鉄骨	779.33
合 計	1,080	905						

## イ 民間保育施設

待機児童解消や多様化する保育ニーズに対応するため、平成27年10月に「君津市保育環境整備に関する基本方針」を策定し、公立保育園の民営化や認可保育園の誘致など、民間活力の導入を積極的に進めてきました。

この結果、令和2年4月現在で市内の民間保育施設は7園（認可保育園4園、小規模保育園3園）となっており、また、令和2年6月にも新たに民間保育園1園が開園しました。

独自の学習プログラムや異年齢保育、動物と触れ合う機会の創出などそれぞれ特色ある運営を行う民間保育園が市内で数多く運営されることにより、保護者にとって保育の選択肢が増え、各家庭のニーズにあった保育環境の提供が可能となります。

### 【民間保育施設（認可保育園）】

保育園名	定員	法人名	備考
君津	90	社会福祉法人君津福祉会	
宮下どろんこ	90	社会福祉法人どろんこ会	
ウェルネス保育園君津	105	社会福祉法人タイケン福祉会	令和2年4月開園
あい・あい保育園君津園	70	株式会社globalbridge	令和2年4月開園
スクルドエンジェル保育園もくし園	75	株式会社スクルドアンドカンパニー	令和2年6月開園
合 計	430		

### 【民間保育施設（小規模保育園）】

保育園名	定員	法人名	備考
スキップ小規模	12	スキップケア株式会社	
サンライズキッズ保育園君津園	19	株式会社エクシオジャパン	
スクルドエンジェル保育園南久保園	19	株式会社スクルドアンドカンパニー	令和2年4月開園
合 計	50		

### 3 解決すべき課題

#### (1) 多様化する保育ニーズへの対応

就学前児童数が減少していく中で、核家族化の進行に伴う家庭内の支え合いの減少や女性の就労機会の増加等に伴い、市街地を中心に3歳未満児の保育園申込率（申込者数/就学前児童数）も7年間で約15%増加しています（9ページ参照）。

また、緊急時の対応や長時間の保育、子ども一人ひとりの実情に合わせたサポートなど、多様化する保育ニーズに対応するために、施設の環境整備、職員の体制づくり及び資質向上など、様々な環境整備が求められます。

#### (2) 老朽化する保育園施設の更新

昭和40年代以降の人口急増に伴う就学前児童数の増加に対応するため、積極的な整備を進めてきた保育園は、安全な施設運営のための維持管理・修繕も年々増加しており、都度、安全を確保するために対応していますが、本質的な改善には至っておらず、大規模地震等の災害などに備えた建替えが必要になっています。

施設の建替えに向けては君津市公共施設等総合管理計画に基づき、人口の推計や中長期的な財政状況などを踏まえ、総合的かつ計画的に整備していく必要があります。

#### (3) 需給バランスの不均衡・施設の適正配置

市街地においては、待機児童が発生している一方で、少子化が進む地域では、定員を大きく下回る入所状況となっている保育園もあり、施設間における需給バランスの不均衡が生じております。

このため、保育ニーズや財政状況に十分配慮しながら、施設の統合を進めるなど、効率的な施設の運営に向けて、適切に対応していく必要があります。



## 第3章 今後の取組方針

### 1 目指すべき保育環境の理念

# 保育環境の理念

将来を担う子どもの主体的な育ちを  
支える保育環境を目指します。

～安心できる君津の保育～

本計画の上位計画である「君津市子ども・子育て支援計画」において、子どもの未来を希望に満ちたものとするため、子どもの最善の利益を第一に考え、社会全体で子育てに関わり、すべての子どもが心身ともに健やかに成長し、みんながその喜びを感じて笑がおになれるよう、「きぼうに満ちたこどもの未来へ みんなが笑がおで元気に つながる子育てのまち」を計画の基本理念とし、つながりを大事にした地域共生社会の実現を目指すこととしております。

また、この基本理念に基づき、「子どもが安全に健やかに育つ」、「次世代をはぐくむ保護者によりそう」、「まちぐるみで子育てを行う」という3つの視点に立ち、計画を推進していくこととしております。

これらの実現に向けて、将来を担う子どもたちが心身ともに健康に育ち、生きる力の基礎を培っていくためには、安心できる良質な保育環境が求められます。

そこで本市では令和6年までに市内保育園を統合・建替えなど施設更新を進め、安全・安心な保育施設として子どものための保育環境づくりを進めていきます。また、保護者が持つ多様な保育ニーズに対応するために民間保育園の導入を積極的に推進し、満足度の高い保育環境整備を目指します。

さらに、保育士以外にも地域の住民が様々な機会に携わることで、子どもが様々な刺激を受けながらたくさんの事柄に興味関心を抱き、関わっていかうとする学びの芽生えを後押しし、子どもの主体的な育ちを支えるための環境を整えていきます。

## 2 課題解決のための方向性

保育環境の理念を踏まえ、重点課題の解決に向けた保育環境整備の実施にあたり、取組方針については次のとおりとします。

### (1) 公立と民間の役割分担の明確化

今日の多様化する保育ニーズや待機児童の発生、特別な支援が必要な子育て家庭の増加に対応していくためには、基本的な保育サービスに加え、障がい児保育や被虐待児へのサポート、中山間地域での保育環境の整備など公共的な役割を担う公立保育園と、長時間の保育や病児病後児保育など柔軟な対応が可能で、特色ある教育方針などそれぞれの特徴を生かし多様な保育サービスの提供ができる民間保育園がそれぞれの役割を担い、市内でバランスの取れた保育サービスの提供ができるよう施設整備を推進します。

### (2) 良質な施設環境の整備

子どもの安全を守ることは保育施設の基本的かつ重大な責任であり、園舎などの施設や遊具などの物的環境にも配慮する必要があります。そのため施設整備を通して安全を確保するとともに、子どもの活動が豊かに展開されるよう、老朽化の著しい施設などの環境整備を推進します。

具体的な取り組みとして、令和2年度においては築40年以上を経過した木造保育園舎の補強工事の実施、及び、鉄骨造保育園舎である清和保育園については旧秋元小学校跡施設において周辺公共施設との複合化を進めます。

また、令和6年度までに順次、公立保育園の統合や建替えについて、子どもの人数や地域の状況に応じた施設の配置を検討したうえで、民間との連携を図りながら早急に施設の整備を進めます。

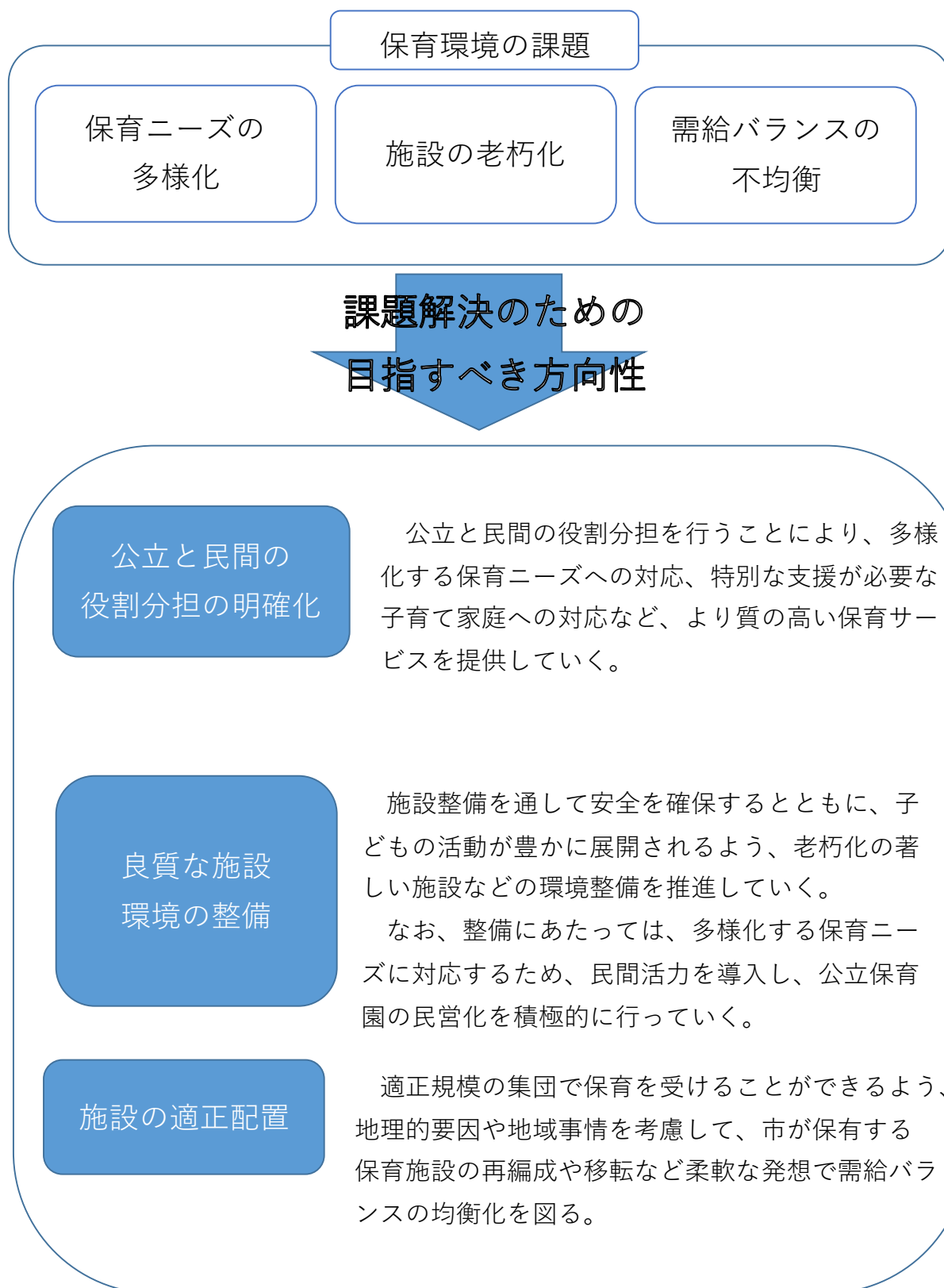
### (3) 施設の適正配置

就学前の保育は、子どもが家庭から離れて初めて体験する集団生活の場であり、徐々に大きな集団での生活に順応していくためのスタートとなります。

良質な保育環境の提供、そこに育つ児童の発達の観点から、一定規模の保育環境の確保が望ましいと考えます。

このため、適正規模の集団で保育を受けることができるよう、地理的要因や地域事情を考慮して、施設の統合や新たな保育施設の建設など、柔軟な発想で需給バランスの均衡化を図ります。

### 3 取組の体系



## 第4章 具体的な方策

### 1 公立と民間の役割分担の明確化

#### (1) 公立保育園の役割

##### ア セーフティーネットとしての役割

すべての家庭に対する子育て支援を視野に入れ、特別な支援が必要な児童の受け入れや、民間での運営が難しい地域での運営など、セーフティーネットとしての機能を果たします。また、保育・子育て支援施設や児童相談所などの関係機関との連携を図りながら、地域における保育の実情・課題の把握や保育情報の収集・発信を行います。

##### イ 入園児童調整に関する役割

将来的な人口・児童数減少に伴い、保育供給（定員）が保育需要（入園希望）を上回る供給過剰となることも予想されることから、民間保育園の安定的な経営を維持するため、公立保育園として需要調整を担っていく必要があります。

また、3歳未満児の待機児童解消の有効手段として、小規模保育園の整備が進められてきたことから、3歳以降の受け入れ先として、公立保育園の役割が必要不可欠となります。

#### (2) 民間保育園の役割

民間保育園の柔軟かつ迅速性のある運営ノウハウを効果的に活用し、本市においても休日保育や病児・病後児保育などのニーズの高い保育サービスの充実を図るため、事業者が参入する段階で市と事業者において協議し、市内の保育サービスのさらなる拡充に向け取り組んでまいります。

## 2 各園の整備方策

今後の取組方針と公立保育園と民間保育園の役割を踏まえた上で、各保育園の整備方策は次のとおりとします。

### (1) 人見こども園

～認定こども園として運営～

公立の幼児教育としての役割を果たすべく、人見保育園に幼稚園枠を確保した人見こども園（認定こども園）へ移行しました。

人見こども園ではこれまでの周西幼稚園で培った幼児教育のスキルやノウハウを継承し、幼児教育と保育の発展的融合を図り、多様化する保護者ニーズに対応するとともに、セーフティーネットとしての機能を有した保育環境づくりを進めていきます。

【類型及び定員】 類型 保育所型認定こども園

定員 幼稚園枠5人、保育園枠150人 合計155人

【計画年度】

	年度				
	R2	R3	R4	R5	R6
	2020	2021	2022	2023	2024
人見	保育所型 認定こども園開園	→	→	→	→

### (2) 久保保育園、上湯江保育園、常代保育園

～新設保育園等への転園～

久保保育園、上湯江保育園、常代保育園がある君津地区においては、他地区と比較した中でも保育需要が高い地域であり、また、令和2年4月には民間保育園が新設されるなど、今後、公立保育園と民間保育園のバランスの取れた保育施設の環境整備が見込める地域です。そのため、老朽化が進んでいる久保保育園、上湯江保育園、常代保育園を閉園し、新たな公立保育園として貞元地先に（仮称）貞元保育園を令和6年4月に開園することで、公立保育園と民間保育園が共存した保育環境の整備を推進していきます。

なお、君津市保育環境整備に関する基本方針においては、各地区において最低1園の公立保育園の運営を行うこととしておりましたが、保育ニーズが増加している君津地区において、保育の質の確保・向上に向けた取り組み強化、要保護児童・要支援家庭への支援など、公立保育園において担っていく役割が重要になってくることから、君津地区の公立保育園の運営は、既存の人見こども園と（仮称）貞元保育園の2園とします。

また、民間保育園の誘致の状況に併せ、令和2年度に開園した3つの民間保育園への転園を推進することにより、閉園に向けた整備に取り組みます。

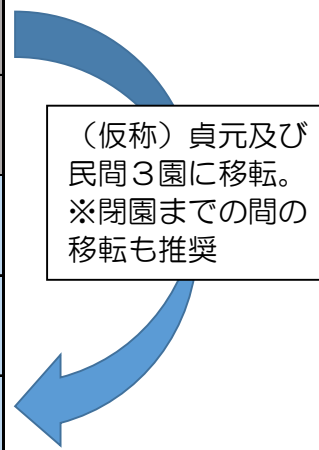
なお、上湯江保育園、常代保育園については、新設保育園への移行促進のため、新規入園の受入れを制限することとします。

**【整備手法】**

- ・久保保育園  
新設保育園等へ移行します。
- ・上湯江保育園  
新設保育園等へ移行します。(R4～5年度 新規受付なし)
- ・常代保育園  
新設保育園等へ移行します。(R4～5年度 新規受付なし)

**【計画年度】**

	年度				
	R2	R3	R4	R5	R6
	2020	2021	2022	2023	2024
久保	運営	→	→	→	閉園
上湯江	運営	→	新規受付なし	新規受付なし	閉園
常代	運営	→	新規受付なし	新規受付なし	閉園
(仮称) 貞元	整備手法検討	設計	設計・建設	建設	開園
ウェルネス	開園	→	→	→	→
あい・あい	開園	→	→	→	→
スクルド	開園	→	→	→	→



(仮称) 貞元及び民間3園に移転。  
※閉園までの間の移転も推奨

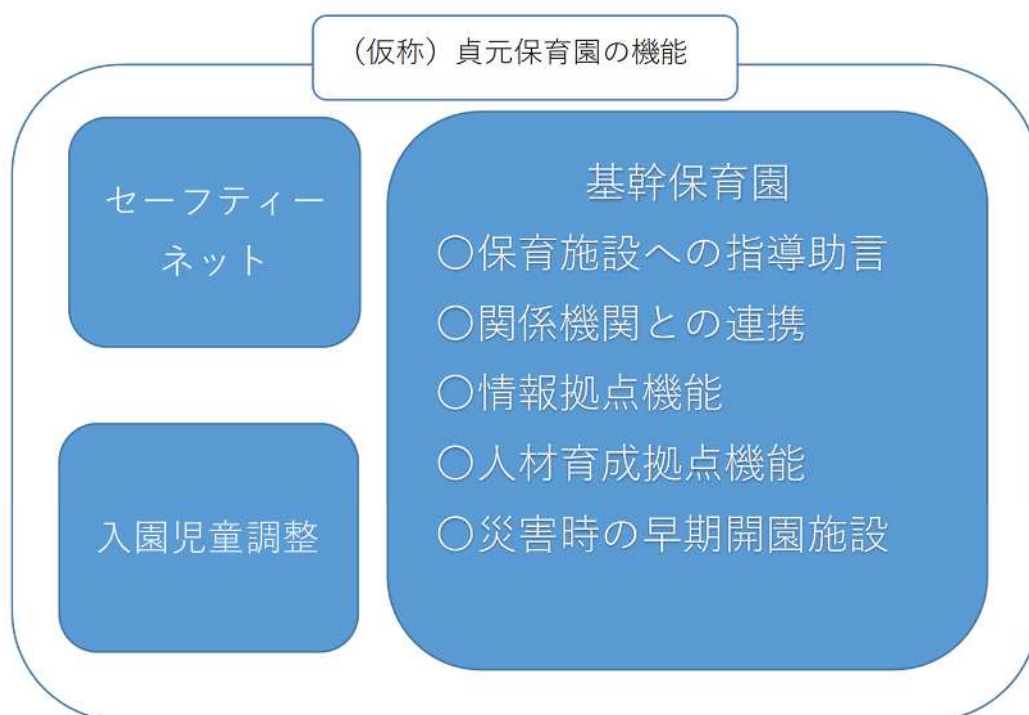
**【定員】**

(仮称) 貞元保育園：150人

※（仮称）貞元保育園の役割

（仮称）貞元保育園については、次に掲げる役割を担っていくこととし、君津市内の保育園の中心的な役割として位置付け、周辺保育園と連携した合同保育や災害時の拠点保育園として対応できるよう施設を整備します。

さらに公立・民間の連携や、各種研修の実施、運営上の指導助言など、人材育成の拠点機能を有した地域の基幹施設として整備します。また、災害時など緊急時にも早期開園が可能な施設として整備し、安全・安心の保育環境を保証します。



(3) 内箕輪保育園、南子安保育園

～民営化による建替え～

君津市保育環境整備に関する基本方針に基づき、多様化する保育ニーズに柔軟に対応していくために、民間活力の導入を積極的に推進していくことから、公立保育園の民営化による建替えを実施することにより、柔軟な保育環境を整えるとともにハード面でも園児の安全を確保します。

【整備手法】

・内箕輪保育園

整備区域を指定したうえで、民間事業者が整備地を確保し、民営化による建替えを実施します。

・南子安保育園

整備区域を指定したうえで、民間事業者が整備地を確保し、民営化による建替えを実施します。

【定員】

内箕輪保育園：120人

南子安保育園：120人

【計画年度】

	年度				
	R2	R3	R4	R5	R6
	2020	2021	2022	2023	2024
内箕輪	保護者説明会	事業者公募・決定 (用地も含め提案)	建設	開園	→
南子安	保護者説明会	事業者公募・決定 (用地も含め提案)	建設	開園	→

(4) 中保育園、小糸保育園

～公立保育園の統合に伴う保育園整備～

小糸地区の就学前児童数の推移などを踏まえ、中保育園及び小糸保育園を1園に統合し、整備を進めていきます。

整備手法については公立保育園の整備を基本としながら民間保育園の参入の可能性も視野に入れ、地域にとってより良い保育施設の整備を推進します。なお、整備場所については、小糸地区の公共施設再配置の検討を進める中で決定します。



**【整備手法】**

中保育園、小糸保育園 2 園を統合した公立保育園の整備を基本とします。  
なお、昨今の民間事業者の参入動向から、民間活力の導入も視野に入れ検討していきます。

**【定員】**

90人

**【計画年度】**

	年度				
	R2	R3	R4	R5	R6
	2020	2021	2022	2023	2024
中	保護者説明会	小糸地区 公共施設再配置 方針の検討	設計	設計	建設 ※R7年度開園
小糸					

(5) 清和保育園

～地域の拠点としての保育園整備～

昭和48年に建てられた鉄骨造の清和保育園は令和2年度に実施する安全対策工事の対象保育園ではないものの、老朽化が進んでおり早急な対応が求められています。

清和地区については少子化が進んでおり、これまでの規模での保育園運営を見直す必要があることから、学校の統合により空き公共施設となっている旧秋元小学校跡施設内に保育園機能を導入した複合施設の整備を推進します。なお、同じ施設内には地域の方が集う公民館、学習拠点となる図書館機能、諸手続きを行う行政センターが整備される予定です。

複合化によるメリットとしては、新たな保育園整備のための財政負担の軽減はもちろんですが、保育園機能が地域の拠点の中に入ることによって、子どもの育ちを地域で温かく見守り・支えるという保育の形が展開されることが期待されます。なお、旧秋元小学校跡施設の改修期間中は、園児等の安全性を考慮し、安全対策工事が完了した小糸保育園で合同保育を行います。

**【整備手法】**

旧秋元小学校跡施設を活用した複合施設内に保育園機能を導入します。

**【定員】**

20人

【計画年度】

	年度				
	R2	R3	R4	R5	R6
	2020	2021	2022	2023	2024
清和	旧秋元小学校跡 施設の利活用 に向けた設計	設計・改修 (小糸で合同保育)	改修 (小糸で合同保育)	開園 (公立)	→

(6) 小櫃保育園、かずさあけぼの保育園

～中長期保全～

公立保育園がセーフティーネットとしての役割を維持し、現施設の継続利用を前提に、計画的な維持保全を図ることで建物の耐久性を維持し、劣化を最小限にとどめ、最も経済的なライフサイクルコストを目指します。

【整備手法】

施設に関する財政負担を中長期的な視点から縮減するため、計画的に改修を行います。

【定員】

小櫃保育園：120人

かずさあけぼの保育園：60人

【計画年度】

	年度				
	R2	R3	R4	R5	R6
	2020	2021	2022	2023	2024
小櫃	修繕や改修により、適切に維持保全に努める。				
かずさ あけぼの	修繕や改修により、適切に維持保全に努める。				

### 3 整備スケジュール

#### 保育環境整備計画 各園整備方針

地区	保育園名	使用場所	R2	R3	R4	R5	R6	備考
			2020	2021	2022	2023	2024	
君津	人見	人見	こども園開園					
	久保	(仮) 貞元・民間3園					(仮) 貞元・民間3園へ	
	上湯江	(仮) 貞元・民間3園			新規入園受付なし	新規入園受付なし	(仮) 貞元・民間3園へ	
	常代	(仮) 貞元・民間3園			新規入園受付なし	新規入園受付なし	(仮) 貞元・民間3園へ	
	内箕輪	民間土地	保護者説明会	事業者公募・決定	建設	開園(民営化)		
	南子安	民間土地	保護者説明会	事業者公募・決定	建設	開園(民営化)		
	(仮称) 貞元	貞元市有地	整備手法検討	設計	設計・建設	建設	開園(公立)	
小系	中・小系	市有地	保護者説明会	小系地区公共施設再配置方針の検討	設計	設計	建設 ※R7年度開園	中・小系統合
清和	清和	旧秋元小学校跡施設	旧秋元小学校跡施設活用に向けた検討及び設計	設計・改修(小系で合同保育)	改修(小系で合同保育)	開園(公立)		※安全対策工事未実施のため、R3年度・R4年度は小系で合同保育を行う。
小櫃	小櫃	小櫃	修繕や改修により、適切に維持保全に努める					
上総	かずさあけぼの	かずさあけぼの	修繕や改修により、適切に維持保全に努める					

※民間事業者の公募状況等により、計画を見直す可能性があります。

#### 4 保育施設の再編一覧

令和元年度	
公立	1 人見保育園
	2 久保保育園
	3 上湯江保育園
	4 内箕輪保育園
	5 常代保育園
	6 南子安保育園
	7 中保育園
	8 小糸保育園
	9 清和保育園
	10 小櫃保育園
	11 かずさあけぼの保育園
民間	1 君津保育園
	2 宮下どろんこ保育園
小規模	1 スキップ小規模保育園
	2 サンライズキッズ保育園君津園



令和6年度	
公立	1 人見こども園（認定こども園）
	2 （仮称）貞元保育園
	3 中保育園
	4 小糸保育園
	5 清和保育園
	6 小櫃保育園
	7 かずさあけぼの保育園
民間	1 君津保育園
	2 宮下どろんこ保育園
	3 ウェルネス保育園君津
	4 あい・あい保育園君津園
	5 スクルドエンジェル保育園もくし園
	6 内箕輪保育園民営化園
	7 南子安保育園民営化園
小規模	1 スキップ小規模保育園
	2 サンライズキッズ保育園君津園
	3 スクルドエンジェル保育園南久保園

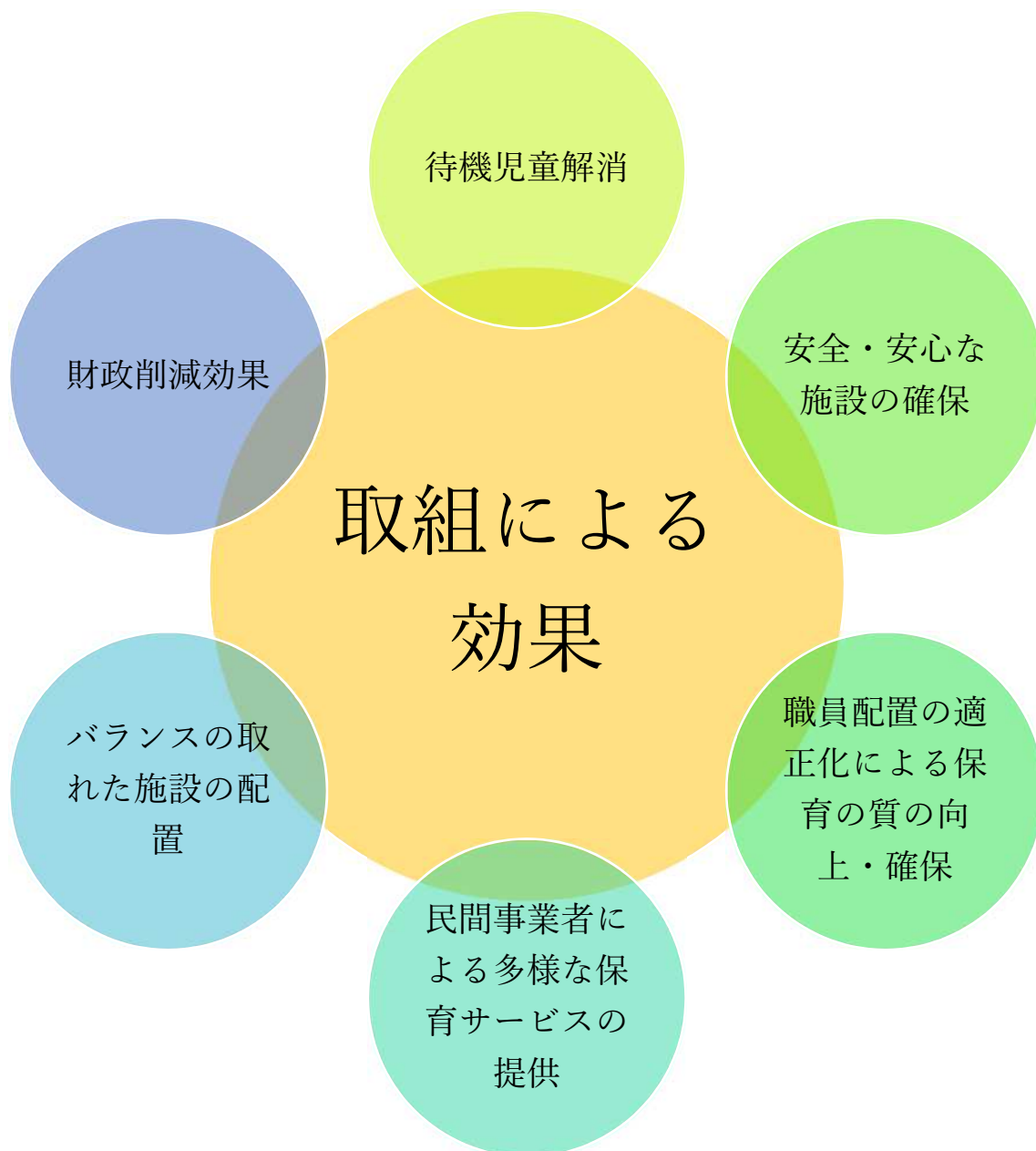
公立数	11園
民間数	2園
小規模数	2園
計	15園

公立数	7園
民間数	7園
小規模数	3園
計	17園

※中保育園、小糸保育園については、統合を行い令和7年度開園予定

## 第5章 取組による効果

本計画に基づく整備を実施することにより、様々な効果が期待されます。  
その効果については、以下のとおりです。



## 1 待機児童解消

令和2年3月策定の第2期君津市子ども・子育て支援計画において、幼児期の教育・保育事業の量の見込みを算出しております。算出にあたっては、将来の子ども数の推計結果と、子育て家庭の教育・保育事業の利用状況や利用意向を反映しています。

各保育園の整備を実施することにより、当該計画に基づいた量の見込みを満たすための供給量を確保することができます。

### 【教育・保育量の見込み等の内訳】

(単位：人)

		1号認定	2号認定		3号認定		
			教育	保育	0歳	1～2歳	
令和2年度	①量の見込み	541	356	752	65	455	
	②確保方策	特定教育・保育施設		5	981	88	441
		確認を受けない幼稚園		1,045			
		特定地域型保育事業				12	38
		認可外保育施設			0	0	0
②(供給)－①(需要)		153	229	35	24		
令和3年度	①量の見込み	519	356	752	69	493	
	②確保方策	特定教育・保育施設		5	891	88	459
		確認を受けない幼稚園		1,045			
		特定地域型保育事業				12	38
		認可外保育施設			0	0	0
②(供給)－①(需要)		175	139	31	4		
令和4年度	①量の見込み	496	326	690	71	465	
	②確保方策	特定教育・保育施設		5	891	88	459
		確認を受けない幼稚園		1,045			
		特定地域型保育事業				12	38
		認可外保育施設			0	0	0
②(供給)－①(需要)		231	201	29	32		
令和5年度	①量の見込み	488	321	679	74	449	
	②確保方策	特定教育・保育施設		5	891	88	459
		確認を受けない幼稚園		1,045			
		特定地域型保育事業				12	38
		認可外保育施設			0	0	0
②(供給)－①(需要)		241	212	26	48		
令和6年度	①量の見込み	466	307	649	78	434	
	②確保方策	特定教育・保育施設		5	891	88	459
		確認を受けない幼稚園		1,045			
		特定地域型保育事業				12	38
		認可外保育施設			0	0	0
②(供給)－①(需要)		277	242	22	63		

- ・ 1号認定：満3歳以上の学校教育のみの就学前の子ども
  - ・ 2号認定：満3歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前の子ども
  - ・ 3号認定：満3歳未満の保育の必要性の認定を受けた就学前の子ども
- ※表の確保方策は施設整備を行わなかった場合の供給量を想定しています

【保育必要量を満たすための保育供給量の整備】

整備内容	R1年度 (2019)	特定教育・保育施設														特定地域型保育事業所							利用定員の合計 (供給)		量の 見込み (必要)	供給-必要	
		公立(11園)											民間(2園)			民間(2園)			民間(2園)		民間(2園)						
		人見	久保	上湯江	内箕輪	常代	南子安	中	小糸	清和	小籠	かずさ あけぼの	君津	どろんこ	年齢 区分	認定 区分	スキップ	サン ライズ	年齢 区分	認定 区分	年齢 区分	認定 区分	年齢 区分	認定 区分	年齢 区分	認定 区分	
●民間保育園3園、小規模保育園1園 整備	3/0歳	10	10	2	5	5	5	2	3	2	5	3			64	64	3	3			6	6	70	70	59	11	
	3/1歳	20	20	10	10	10	20	10	8	3	15	8			158		4	8			12	12	170		410	-28	
	3/2歳	25	25	13	15	15	25	13	9	5	15	9			199	357	5	8			13	25	212	382			
	3/3歳	25	25	15	20	20	30	15	10	10	25	10			238												
	3/4歳	35	35	20	20	20	35	20	15	15	30	15			300	839											
	3/5歳	35	35	20	20	20	35	20	15	15	30	15			301												
計		150	150	80	90	90	150	80	60	60	120	60	90	90	1,260	1,260	12	19	31	31	1,291	1,291	1,229	62			
●人見こども園 運営開始 ●内箕輪、南子安、小糸地区 保護者説明会 ●民間保育園3園、小規模保育園1園開園 ●貞元 整備手法検討 ●清和 旧秋元小学校跡施設活用に向けた検討、 設計業務	3/0歳	10	10	2	5	5	5	2	3	2	5	3			88	88	3	3			6	12	12	100	100	48	52
	3/1歳	20	20	10	10	10	20	10	8	3	15	8			200		4	8			6	18	38	218		435	44
	3/2歳	25	25	13	15	15	25	13	9	5	15	9			241	441	5	8			7	20	38	261	479		
	3/3歳	25	25	15	20	20	30	15	10	10	25	10			285												
	3/4歳	35	35	20	20	20	35	20	15	15	30	15			347	981											
	3/5歳	35	35	20	20	20	35	20	15	15	30	15			349												
計		150	150	80	90	90	150	80	60	50	120	60	90	90	1,510	1,510	12	19	19	50	50	1,560	1,560	1,197	363		
●内箕輪、南子安 事業者公募 ●貞元 設計業務 ●小糸地区 公共施設再配置方針の検討 ●清和 設計業務、改修工事、小糸で合同保育	3/0歳	10	10	2	5	5	5	2	3	2	5	3			88	88	3	3			6	12	12	100	100	56	44
	3/1歳	20	20	10	10	10	20	10	8	3	15	8			200		4	8			6	18	38	218		479	0
	3/2歳	25	25	13	15	15	25	13	9	5	15	9			241	441	5	8			7	20	38	261	479		
	3/3歳	25	25	15	20	20	30	15	10	10	25	10			285												
	3/4歳	35	35	20	20	20	35	20	15	15	30	15			347	981											
	3/5歳	35	35	20	20	20	35	20	15	15	30	15			349												
計		150	150	80	90	90	150	80	60	50	120	60	90	90	1,510	1,510	12	19	19	50	50	1,560	1,560	1,197	363		
●上湯江、常代 新規受付なし ●内箕輪、南子安(民間) 整備 ●貞元 設計業務、新築工事 ●小糸地区 設計業務 ●清和 改修工事、小糸で合同保育	3/0歳	10	10	2	5	5	5	2	3	2	5	3			88	88	3	3			6	12	12	100	100	54	46
	3/1歳	20	20	10	10	10	20	10	8	3	15	8			200		4	8			6	18	38	218		452	27
	3/2歳	25	25	13	15	15	25	13	9	5	15	9			241	441	5	8			7	20	38	261	479		
	3/3歳	25	25	15	20	20	30	15	10	10	25	10			285												
	3/4歳	35	35	20	20	20	35	20	15	15	30	15			347	981											
	3/5歳	35	35	20	20	20	35	20	15	15	30	15			349												
計		150	150	80	90	90	150	80	60	50	120	60	90	90	1,510	1,510	12	19	19	50	50	1,560	1,560	1,121	439		
●上湯江、常代 新規受付なし ●内箕輪、南子安(民間) 運営開始 ●貞元 新築工事 ●小糸地区 設計業務 ●清和 運営開始	3/0歳	10	10	2	5	5	5	2	3	2	5	3			89	89	3	3			6	12	12	101	101	52	49
	3/1歳	20	20	10	10	10	20	10	8	2	15	8			205		4	8			6	18	38	223		437	52
	3/2歳	25	25	13	15	15	25	13	9	2	15	9			246	451	5	8			7	20	38	266	489		
	3/3歳	25	25	15	20	20	30	15	10	5	25	10			278												
	3/4歳	35	35	20	20	20	35	20	15	15	30	15			330	940											
	3/5歳	35	35	20	20	20	35	20	15	15	30	15			332												
計		150	150	80	90	90	150	80	60	20	120	60	90	90	1,480	1,480	12	19	19	50	50	1,530	1,530	1,083	447		
●久保、上湯江、常代 閉園 ●貞元 運営開始 ●小糸地区 新築工事	3/0歳	10	10												77	77	3	3			6	12	12	89	89	50	39
	3/1歳	20	20												185		4	8			6	18	38	203		422	19
	3/2歳	25	25												218	403	5	8			7	20	38	238	441		
	3/3歳	25	25												248												
	3/4歳	35	35												290	830											
	3/5歳	35	35												292												
計		150	0	0	0	0	0	80	60	20	120	60	150	90	1,310	1,310	12	19	19	50	50	1,360	1,360	1,033	327		

## 2 安全・安心な施設の確保

当市の公立保育園のうち新耐震基準を満たした園は、現時点において全体の27.3%となり、この数値は県内でも下位に位置する数字となっておりますが、全ての保育園において耐震化が完了し、安全で安心な保育の提供が可能となります。

### 【公立保育園整備後の耐震化率の状況】

公立保育園	耐震化
1 人見	OK
2 久保	NG
3 上湯江	NG
4 内箕輪	NG
5 常代	NG
6 南子安	NG
7 中	NG
8 小糸	NG
9 清和	NG
10 小櫃	OK
11 かずさあけぼの	OK



公立保育園	耐震化
1 人見	OK
2 (仮称) 貞元	OK
3 中・小糸 (統合)	OK
4 清和	OK
5 小櫃	OK
6 かずさあけぼの	OK

耐震化園	
3 園 / 11 園	27.3%

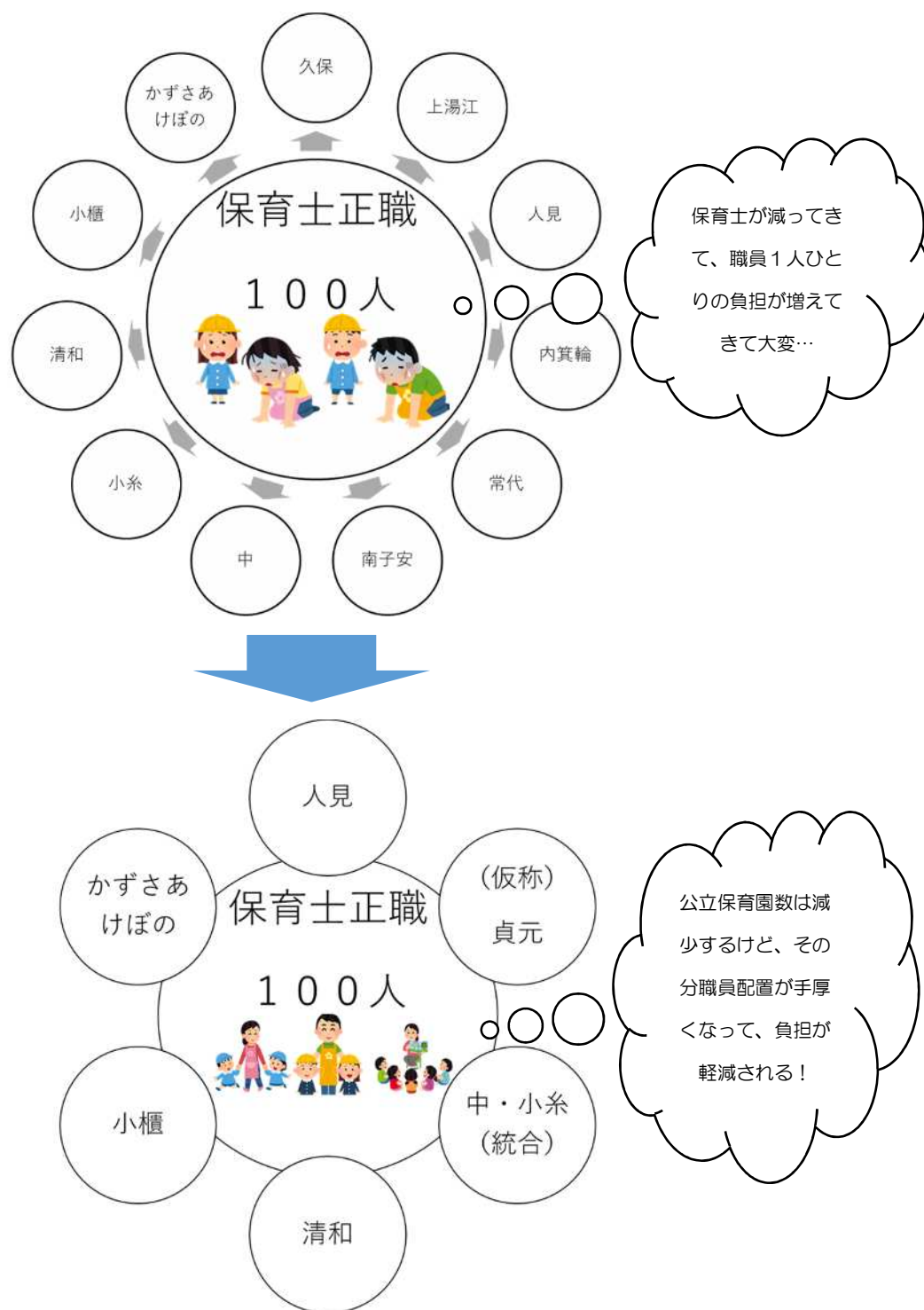
耐震化園	
6 園 / 6 園	100.0%





### 3 職員配置の適正化による保育の質の向上・確保

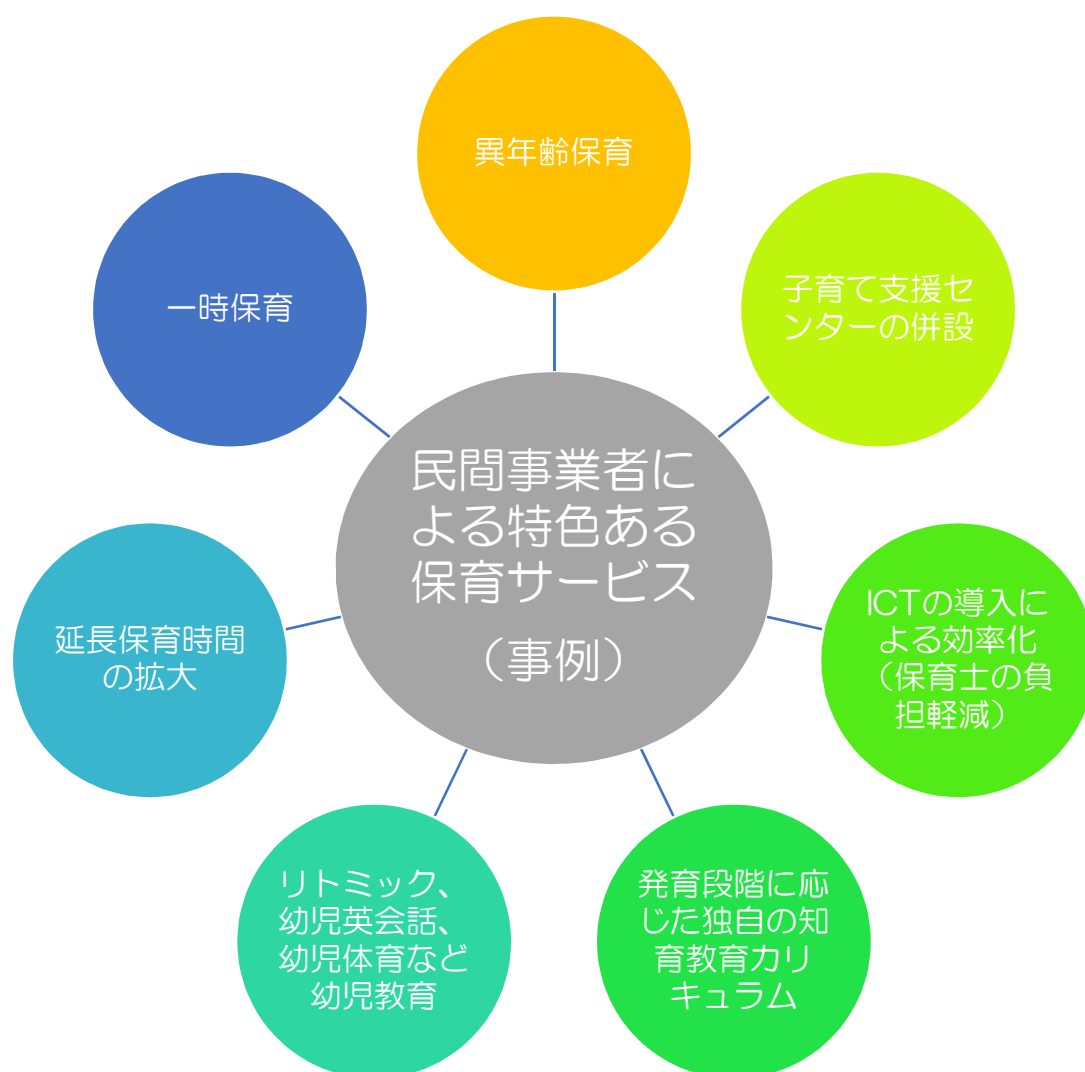
公立保育園の民営化及び統合により、閉園となる公立保育園の正規職員を存続する他の公立保育園・認定こども園に配置することにより、職員配置が手厚くなり、充実した保育が可能になるとともに、待機児童の解消に向けた保育士の確保につながります。



#### 4 民間事業者による多様な保育サービスの提供

民間活力の導入により、保護者が求める保育について、公立保育園では対応が困難となりますが、民間保育園では対応可能となる体制を整えることができます。

過去に民間活力を導入した事例において、保護者へのアンケートを実施したところ、満足しているという意見が多数を占めており、民間活力導入については効果的であったことが確認でき、今後も引き続き実施していくことで効果が期待されます。



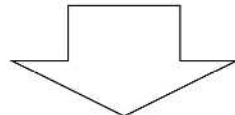
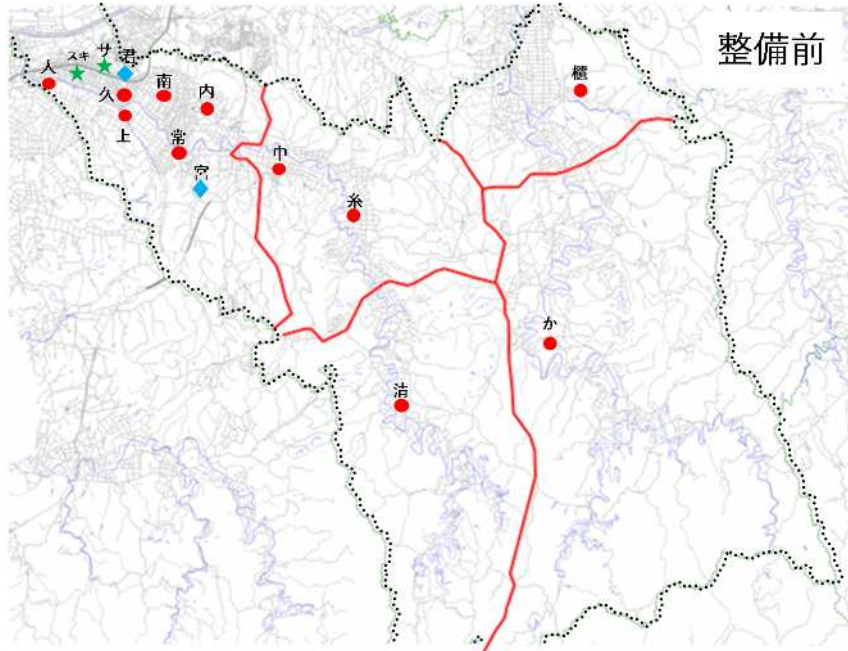
5 需給バランスを整えた施設の配置

保育園の移転や統合、民営化を進めることによって保育環境が大きく変わります。

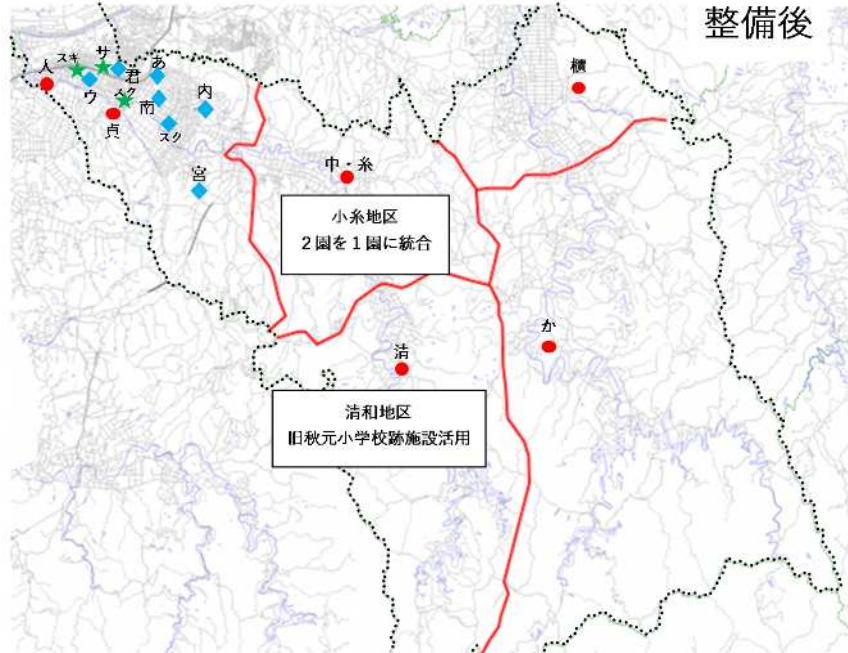
君津地区では（仮称）貞元保育園が基幹保育園として地域保育を支え、周辺には特徴ある保育サービスを提供する民間保育園が配置されます。また、小糸地区は小糸保育園と中保育園が統合した公立保育園を整備し、清和地区では複合施設に保育園が整備され新たな地域の拠点となります。

●：公立保育園 ◆：民間保育園 ★：小規模保育園

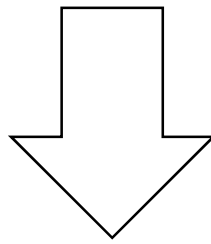
【君津市保育園 整備前配置図（令和元年度）】



【君津地区保育園 整備後配置図（令和6年度）】



【君津市保育園 整備前配置図（令和元年度）】



【君津市保育園 整備前配置図（令和6年度）】



## 6 財政削減効果

保育園の運営にかかる経費の主な財源については、公立は保護者から徴収する保育料と市の一般財源（市税等）で賄われていますが、民間では保育料や市負担分に加えて、国と県からの補助金や負担金で構成されています。

また、施設整備にかかる経費についても、公立は全額市負担であるのに対し、民間では国からの補助金が活用できることから、民営化することにより、運営費・施設整備費ともに市の財政負担の軽減が期待できます。

民営化により軽減された財源や、公立保育園の閉園により集約した保育士人材を活用して、セーフティネットや基幹保育園としての機能の拡充、手厚い職員配置による充実した保育が可能になります。

【公立・民間にかかる財源比較】

財源	公立				民間				
	市	国	県	保護者	市	国	県	事業者	保護者
運営費 (人件費含む)	◎ (10/10)	-	-	○ 保育料	◎ $1/4 + \alpha$	○ 1/2	○ 1/4	○ $+ \alpha$	○ 保育料
施設整備費	◎ (10/10)	-	-	-	◎ $1/4 + \alpha$	○ 1/2	-	○ $1/4 + \alpha$	-

## 参考

市内保育園の外観【令和2年4月現在】

◎公立保育園・認定こども園

●久保保育園



●上湯江保育園



●内箕輪保育園



●常代保育園



●南子安保育園



●中保育園



●小糸保育園



●清和保育園



●小櫃保育園



●かずさあけぼの保育園



●人見こども園



◎民間保育園

●君津保育園

写真はパブコメ時  
までに挿入予定

●宮下どろんこ保育園



●ウェルネス保育園君津



●あい・あい保育園君津園



●スキップ小規模保育園



●サンライズキッズ保育園君津園



●スクルドエンジェル保育園南久保園



●スクルドエンジェル保育園もくし園

写真はパブコメ時  
までに挿入予定